

**製品名: TUBA4A マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82569**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TUBA4A
別名	ALS22; TUBA1; H2-ALPHA;Alpha-tubulin 1;TBA4A
遺伝子 ID	7277.0
SwissProt ID	P68366
免疫原	大腸菌で発現したヒト TUBA4A (AA: (299-447) ) の精製された組み換え断片。

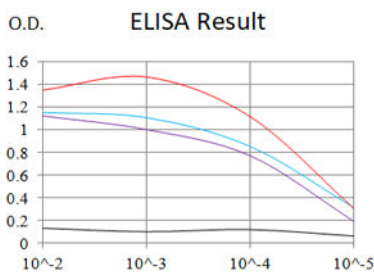
**背景**

真核生物の細胞骨格を構成する微小管は、必須かつ多様な機能を果たし、 $\alpha$  チューブリンと  $\beta$  チューブリンのヘテロ二量体から構成されています。これらの微小管構成要素をコードする遺伝子は、6つの異なるファミリーからなるチューブリンスーパーファミリーに属

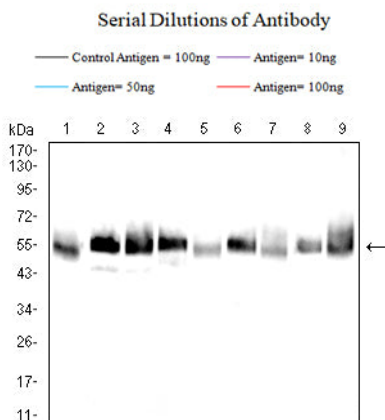
しています。α、β、γチューブリンファミリーの遺伝子は、すべての真核生物に存在します。αチューブリンとβチューブリンは微小管の主要構成要素であり、γチューブリンは微小管の核形成において重要な役割を果たします。αチューブリンとβチューブリンの遺伝子は複数存在し、種間および種間で高度に保存されています。この遺伝子は、ラット精巣特異的αチューブリンと高度に保存された相同遺伝子であるαチューブリンをコードしています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2013年6月]

## 研究分野

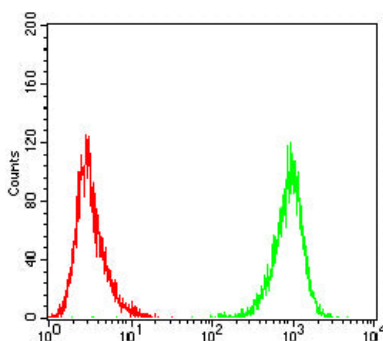
## 画像データ



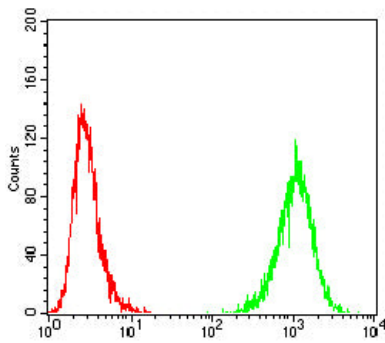
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



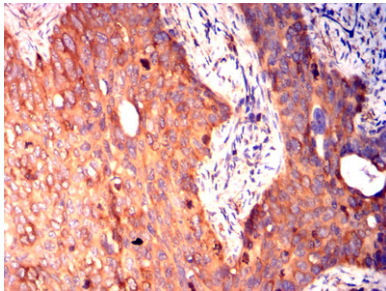
A431 (1)、Hela (2)、HepG2 (3)、Jurkat (4)、Cos7 (5)、C6 (6)、NIH3T3 (7)、HEK293 (8)、および HEK293-6e (9)細胞溶解物に対する TUBA4A マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



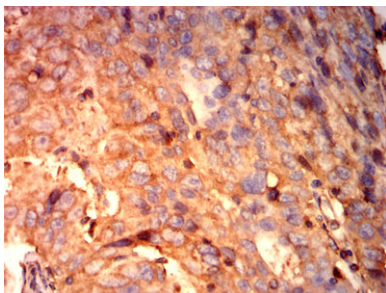
TUBA4A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A431 細胞のフローサイトメトリー分析。



TUBA4A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hepg2 細胞のフローサイトメトリー分析。



TUBA4A マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



TUBA4A マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。